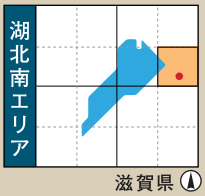
名勝
県指定

来照寺庭園（らいしょうじていえん）

近江町高溝　昭和61年3月28日指定



湖北は田畑に恵まれたうえに、交通の要衝として、様々な情報が行き交う地域であったためか、豊かな精神生活を物語る文化遺産が多数残されています。来照寺の庭園もその一つで、広大な琵琶湖を取り込んだ、西方極楽浄土の庭として造られました。

当時のできごと	
1536年	伊達稙宗『塵芥集』を制定
1705年	御陰参り大流行
1796年	イギリス人ブロートン室蘭に来航

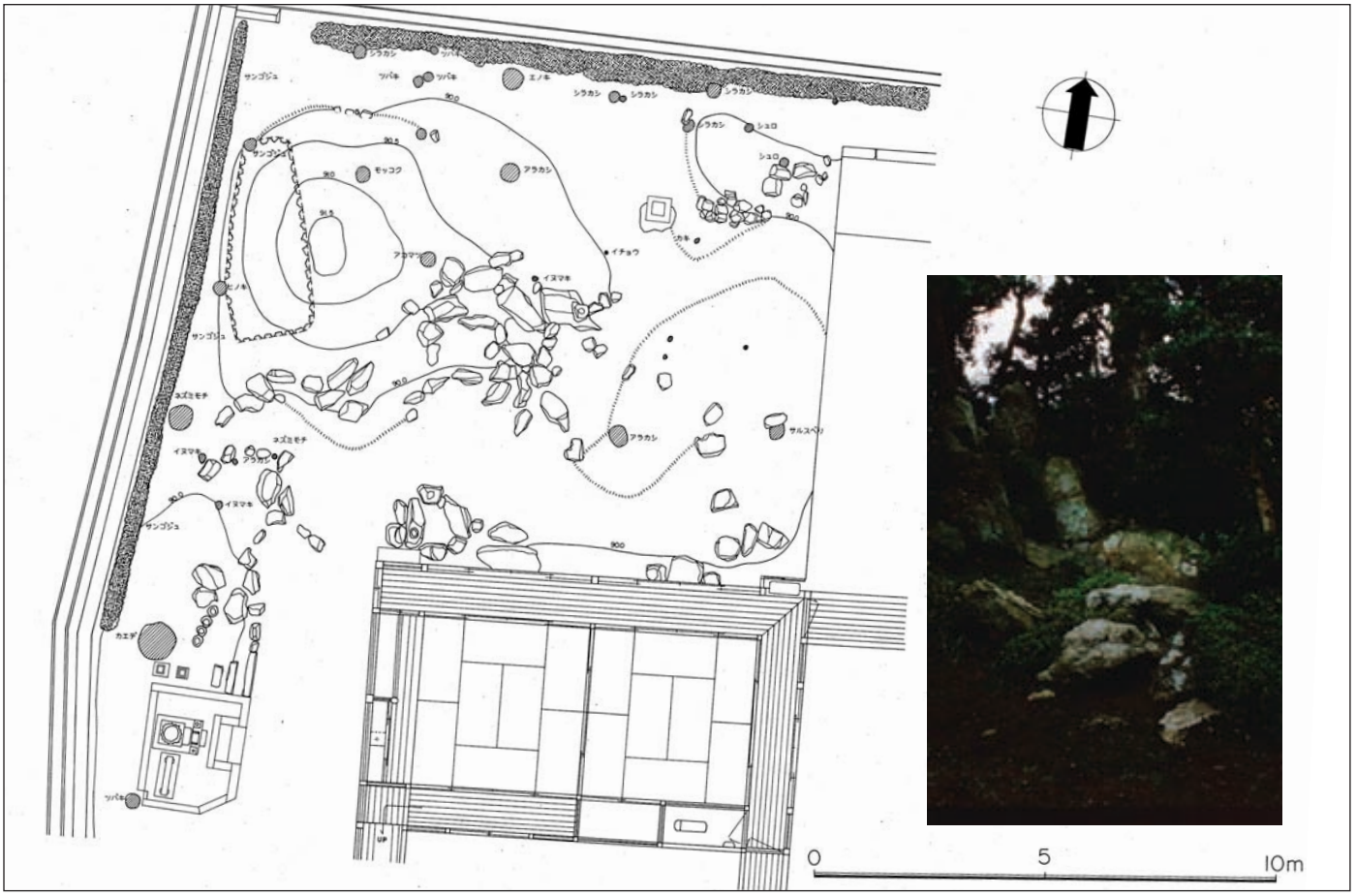
来照寺について

来照寺は浄土真宗本願寺派の寺院で、『近江国坂田郡志』によると、古くは伊徳庵と称していましたが、天文5年（1536）に玉泉坊と改称し、さらに宝永2年（1705）に木仏を安置し、来照寺と号するようになったと記されています。

庭園は、寺伝によれば寛政7年（1795）に書院を建てた際、西方極楽浄土の庭として造られたとされ、かつては、西に日が沈む時、琵琶湖の水面が神神しく光り輝き、浄土に居るかのごとくであったといいます。


来照寺庭園


力強い石組



来照寺庭園測量図

庭の構成

庭園は書院の北庭で、枯山水の形式をとります。庭の背後には急峻な築山を設け、その中腹右手に三尊風に立石を配し、枯滝とします。ここから小さく迂回して、庭前面の大海を表す平地に流れ出る枯流には、自然石の小橋を架けます。枯滝、流、中腹左手に配された数石、山裾に配された石組など全体の構成が素晴らしく、作庭者の優れた技法が感じ取れ、江戸時代末期の庭とは思えないほどの迫力が感じられます。

この庭は、幕末頃に、近世近江を代表する作庭師である鈍穴（どんけつ：勝元源吾）が手を加えたと伝えられています。

関連する文化財

名勝福田寺庭園（近江町）	学習シートNo.088
名勝青岸寺庭園（米原町）	学習シートNo.087
県名勝総持寺庭園（長浜市）	学習シートNo.095

もっと深く知りたい

近江町はにわ館	☎0749-52-5246　坂田郡近江町顔戸281-1
近江町教育委員会	☎0749-52-3111　坂田郡近江町顔戸488-3



来照寺庭園へのアクセス　ＪＲ北陸本線　坂田駅下車
北陸自動車道　米原インター

【参考文献】〔滋賀県の庭園１～３〕滋賀県教育委員会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　　平成16年3月